

校長だより



# 願い、実現

令和8年2月10日

No.10

附属特別支援学校

小松 賢吾

## 【学校教育目標】

「自らの力をじゅうぶん発揮し、主体的に取り組む生活を今と将来にわたって実現する児童生徒の育成」

【みんなの合言葉】「『自分から 自分で せいっぱい』 願い実現 楽しい附特」

## 令和8年が始まりました

もう、1カ月余りが過ぎてしまいましたが、令和8年がスタートしました。冬休み中の感染症、冬ならではの降雪や凍結による事故なども心配しましたが、元気に登校することができて一安心です。始業式では、午年にちなんで「馬には速く走る馬もいれば、ゆっくりだけど遠くまで歩ける馬もいる。自分の速さでいいから、一步一步前に進んでいこう。昨日より少しできた、前より少し上手になった、ということのを大事にしよう。3学期は短いけれど、『自分は何をがんばったかな？ 誰とがんばったかな？』という振り返りを通して一年間のまとめをしよう。そして4月からの新しい生活に向けた準備もしていこう。」という話をさせていただきました。一人一人、自分のペースでいいから着実に成長でき、自分でそれを感じられる一年にしていきたいと思います。



本年も、ご理解とご協力をいただきますよう、お願いいたします。

新年早々に行われた校内書初め展は、新年の抱負や好きな言葉など、思い思いの作品で彩られました。その子らしさにあふれる作品ばかりで、見ていて心が温くなりました。思いが叶うよう応援していきたいと思います。



## どんと焼き

今年も1月15日に、校庭でどんと焼きを行いました。正月飾りやだるまなどをお持ちいただいた皆様、ありがとうございました。

子どもたちも自分たちの書初めと一緒に焚き上げたので、自分の作品が燃えて舞い上がっていく様子をじっと見つめる姿もありました。熾火になってからは繭玉をあぶり、柔らかくホクホクになった繭玉をおいしそうにほおばる姿もありました。



今回は地域の方に呼びかけたところ、前日準備にも駆けつけてくださり、あっという間に見事なものが組み上がりました。また、子どもたちが十分に楽しんだ後、最後に残った灰の片付けも行っていました。例年だと、燃え尽きるまで火の番が必要になったり、放課後に行う灰の片付けがなかなか大変だったりしていました。そこを全て行っていただいたことで、教員は子どもたちの支援にあたることができ、また、自分たちの活動を多くの地域の方に支えていただいていることを実感する機会にもなりました。ありがたいことです。本年も子どもたちがどんどん地域へ飛び出し、地域の方にもたくさん関わっていただく学校にしていきたいと思っています。よろしくお願いします。



## 教育実習が始まりました

2月5日から、本校のミッションの1つでもある教育実習がスタートしました。本年度は特別支援コースの学生24名、他教科の学生が24名、合計で48名の実習生が来てくれました。初日の朝の全体会では、非常に緊張した面持ちでしたが、帰りの全体会になると、実際に一日子どもたちと関わってみて、充実感に満ち溢れた表情で、楽しそうに子どもたちとの関わりについて語り合っている姿が印象的でした。

本校は、「共同生活者」として、子どもたちと共に歩む生活づくりを大事にしているのですが、初日朝の全体会で実習生代表の学生が、「共同生活者として、大事に同じ時間を生きたい」と語ってくれました。指導者としてというより、生活を共にする中で子どもたちのよりよい育ちを目指すという本校の理念を理解しているばかりか、子どもたちの生活の一部として「同じ時間を生きる」という覚悟に胸が熱くなりました。

子どもたちと過ごす中で、一日ごとに笑顔が増し、子どもたちの信頼を得て心の距離を縮めていく実習生たちの姿から、我々教員も学ぶところがたくさんあります。十日間しかない実習です。実習生にとっては貴重な一日、子どもたちにとっても大切な人生の一日です。充実した日々になるよう、しっかり支えていきたいと思います。



## 最長12年間のまとめとして

高等部3年生は、この3学期で本校での生活が終わります。長い生徒は小学部入学から本校で12年間過ごしたことになります。思い出深い学校へのお礼の気持ち、かわいい後輩たちに使ってほしいという気持ち、自分たちで何かを残していきたいという気持ちなど、様々な願いのもと、高木建設さんのご協力をいただきながら卒業制作として、「ベンチとテーブルセット」をつくっています。木工班の生徒は慣れた手つきで、手工芸班や陶芸班の生徒たちは、おっかなびっくりでしたが教わりながら、電動工具を使ってねじを打ち込み、教わったように補強を入れながら制作をしています。バーナーで焼きを入れ、塗装をして、見栄えも耐久性もかなりよいものになりそうで楽しみです。

また、卒業前の思い出作りとして、もう一度校外学習に行くことを目標に「中華まん」をつくり、校内だけでなく教育学部と長野市役所で出張販売をしました。ともに、見事完売することができました。

長野市役所前での販売は、衆議院選挙の期日前投票の来場者や一般の来庁者、市教育委員会の方たちや市役所職員などたくさんの方々に来店いただきました。多くの方たちに理解していただき、支えていただいていることを感じる販売会でした。

高等部3年生だけでなく、全ての子どもたちが今の学年のまとめに入っていきます。良いまとめをして、4月からの新しい生活に向かっていきたいと思います。

